



ハマニガナとスナビキソウ

2018.5.4

新宮海岸に浜辺の植物観察に同行させていただきました。浜辺はなかなか観察する機会がないのでワクワクでした。半ば常緑樹林化が始まっている松林を抜けると、折からの大風で観察者が浜辺の植物よろしく身を低くして前進しました。ハマニガナは、内陸のニガナと違い色鮮やかでタツプリとした風情です。葉っぱも厚みがあります。強い直射日光、水分、風など海浜の厳しい環境に適応するための工夫がいっぱいです。スナビキソウはアサギマダラの食草として有名ですが、長い地下茎を砂の中に引いて増えるのでこの名前があるそうです。

もりちゃん